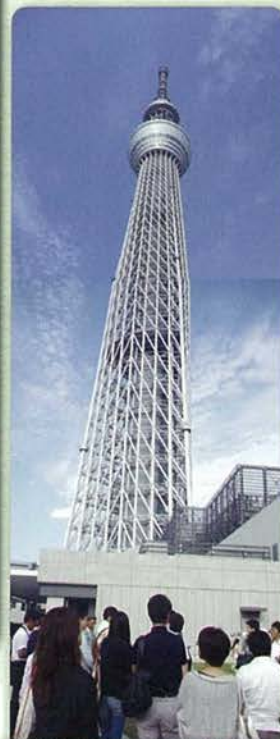


全国1級造園施工管理技士の会 会報



一造会



創立 25 周年記念特別号 今ためされる造園の力

座談会「歴代会長に聞く」時代背景とこれまでの取り組み／これからの一造会の役割

特別講演会「森は海の恋人」畠山重篤氏「造園領域から見た日本の未来」涌井史郎氏

第9回「市民と造園家の交流会」／第8回「一造会大賞」／第7回「技術発表会」／台湾海外視察研修会報告／大菩薩峠植生観察登山／東京スカイツリー周辺のランドスケープ／U39 若手造園技術者の語る会／第1回東北視察研修／「園芸ごよみ」継続中

No. **48**
2014.Jan.



無鄰菴の維持管理—時代の感性を読み取る—

阪上 富男 (植彌加藤造園 株式会社)

無鄰菴の概要

無鄰菴は、明治 29 年 (1896) 七代目・小川治兵衛により作庭された元勲・山縣有朋の京都における別邸である。敷地面積は 3,135 m² (約 950 坪) で、東山を借景とした明るく開放的な芝生の空間・軽快な水の流れを持つ近代庭園の先駆けといわれる庭園である。



山縣有朋
天保 9 年 (1838)
~大正 11 年 (1922)

時代の感性を読み取る

作庭に際し、山縣は京都の伝統的な作風を好まず、自然風の庭園を望んだ。コケの代わりに芝生を張ること、シダを植えること、京都では滅多に使われなかったモミを群植すること、滞留する池ではなく流れを施すことを指示した。また、『京華林泉帖』の写真からも、明らかに現代とは違った野趣あふれる美意識を読み取ることができる。



作庭当時の無鄰菴
『京華林泉帖』 明治 42 年 (1909)

作庭より 117 年が経つ現在、施主である山縣の想いを尊重し、明治という時代と現代における感性の違いを見極めながら維持管理している。



無鄰菴平面見取図

1) 東山の借景

作庭当初、借景となる東山を際立たせるため、庭園の外縁樹木は低く抑えられていた。近隣の市街地化に伴い、庭園周囲に構造物が並び立つようになり、それらを隠すために樹木の高さが引き上げられた。しかし、時の流れと共に樹木は大きくなり、近年には手入れが行き届かず、繁茂した状態となっていた。平成 19 年 (2007)



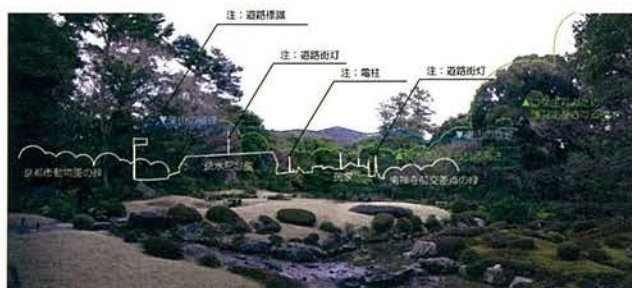
借景・東山と無鄰菴



作庭当初の無鄰菴の外環境

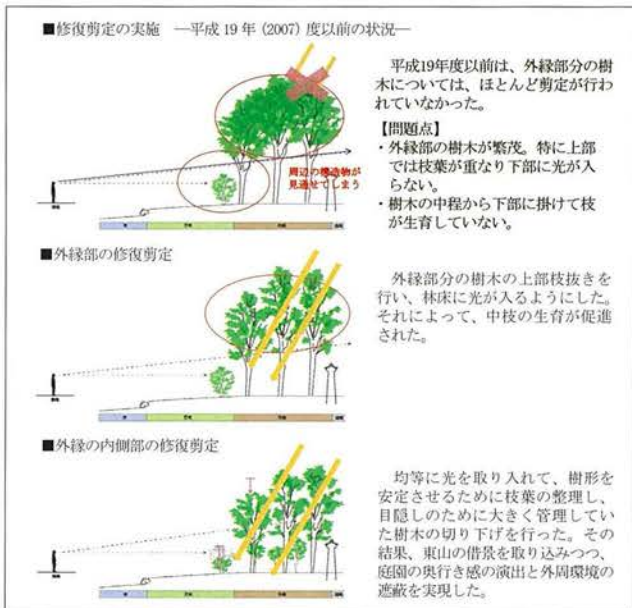


現在の無鄰菴の外環境



無鄰菴の樹木剪定高ライン

にプロポーザル入札制度が導入され、私の職場が維持管理に携わるようになってからは、外部からの遮蔽性を保ちながら、東山との一体感を意識し、樹木 1 本 1 本の樹姿を向上させ、奥行き感を演出する手入れを行っている。



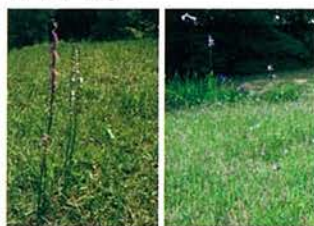
外縁樹木の修復剪定

2) 芝生と野花

山縣は「御賜稚松の記」に“苔の青みたる中に名も知らぬ花咲き出でたるもめずらし…”と記しており、自然に咲く野花を楽しんでいたことがうかがえる。無鄰菴の特色の一つでもある芝生は、定期的にとだ機械的に刈るのではない。山縣が楽しんだ景色に想いを馳せながら、季節に応じて咲く野花を考慮しつつ、時には手で抜き取り、野趣あふれる芝生空間となるよう心掛けている。



『御賜稚松の記』



ネジバナ (左) とマツバウンラン (右)



手作業による芝生の手入れ

巻頭言

- 3 節目の 25 年、これからの一造会
全国 1 級造園施工管理技士の会会長 坂元博明

一造会創立 25 周年に寄せて

- 4 技術の研鑽と伝承、つくる楽しさの共有に期待
国土交通省都市局公園緑地・景観課 課長 舟引敏明

- 5 「一造会」海外支部の立ち上げを
東京大学名誉教授・東京農業大学教授 熊谷洋一

- 6 誇りを持って魅力ある環境づくりを
(一社) 日本造園建設業協会会長 藤巻司郎

- 7 大きく羽ばたく一造会
(一社) ランドスケープコンサルタンツ協会会長 枝吉茂種

一造会創立 25 周年記念 今ためされる造園の力

座談会「歴代会長に聞く」

- 8 第 1 部 時代背景とこれまでの取り組み
16 第 2 部 これからの一造会の役割

特別講演会

- 32 山の豊かさが海の豊かさ、経済の活性化に
講演①「森は海の恋人」
島山重篤氏
- 34 造園的発想で生態系や文化を緑でつなぐ
講演② 造園領域から見た日本の未来 ～環境革命の時代へ～
涌井史郎氏
- 37 今こそ造園技術者が力を発揮すべき
地域に根差した個性ある美しい風景を
パネルディスカッション



【表紙写真】 3.11 で被災した海岸の復興はいかにあるべきか



左：東京スカイツリー前で 中・右：東北視察研修で



左：特別講演会 中：市民と造園家の交流会 右：技術発表会

- 38 第 9 回「市民と造園家の交流会」を開催
スライドショー、パネル展示など多彩に
- 38 平成 25 年度通常総会 事業計画、役員の変更など承認
- 40 第 7 回「技術発表会」満席の会場で実施
「最新の屋上・壁面緑化技術と維持管理」テーマに
- 57 「U39 若手造園技術者の語る会」で活発な意見
「仕事の理想と現実」などテーマに日頃の想いを語り合う
- 58 「台湾海外視察研修会」報告
～台中・台北の最新緑化事情～
- 60 「大菩薩峠植生観察登山」報告
～環境条件から植生を学ぶ～
- 62 「東京スカイツリー周辺のランドスケープ」実施
話題のスポットの設計・施工担当者を講師に迎えて現地研修
- 63 第 1 回 東北視察研修「被災地のいま…」報告
宮城県石巻・岩沼・名取・仙台を視察 「技術発表」「懇親会」も
- 66 学校職員（要務）実務研修会を実施
- 67 「読売新聞」園芸ごよみへの情報提供継続中
- 68 一造会創立 25 周年記念 事業報告会を開催
- 楽しい雑木林
- 69 「つくるということ」藤本健夫（箱根植木株）
- 70 「釣りをしています」堤 明伸（株津々美造園）
- 俺の現場 わたしの現場
- 71 臼井信人（東光園緑化株）／田上貴（株大利根造園）

- 42 第 8 回「一造会大賞」授賞式、受賞者発表会を開催 大賞に「龍崖山公園の造成工事」
- 43 「一造会大賞」選考委員長・選考委員講評 藤井英二郎 千葉大学大学院教授ほか
「一造会大賞」受賞作品紹介
- 47 大賞 現場発生材と高低差のある現況地形を有効利用した龍崖山公園 諸井泰司ほか（株アティ）
- 53 特別賞 無鄰菴の維持管理一時代の感性を読み取る一 阪上富男（植彌加藤造園株）
- 54 特別賞 東日本大震災における指定管理事務所の対応と今後の課題 石出慎一郎（東洋緑化株）
- 55 特別賞 壁面緑化施工における創意工夫 山本泰之 塩井景介 土門良平（西武造園株）
- 56 特別賞 菜園事業 まちなか菜園の 4 年間 田村征士 梶川昭則（東邦レオ株）

一造会会報 第 48 号

平成 26 年 1 月 31 日

発行人 坂元 博明

編集人 原田 秀樹

発行

全国 1 級造園施工管理技士の会

〒150-0041

東京都渋谷区神南 1-20-11

造園会館内

TEL : 03-6455-0426

FAX : 03-6455-0427

URL : <http://www.icz.jp>

E-mail : info@icz.jp